

一房のぶどう



第2号

平成16年11月15日

編集・発行 / あきる野市教育委員会 〒197-0814 あきる野市二宮350

042(558)1111(代)

家庭への3つの呼びかけ

＝ あいさつをしよう ＝

あいさつは、互いの気持ちを明るくし、良い人間関係の基盤です。

＝ 食事と睡眠・規則正しい生活リズムをつくろう ＝

思いやりの心や、集中する力、我慢する力を育てるには規則正しい生活リズムが大切です。

＝ 子どもとの信頼関係を築こう ＝

家族と居ると楽しい、家に帰ると安心する、そんな環境をつくりましょう。



地域から技術や知識を学ぶ

地域の人たちが、高度な技術や知識を土・日や夕方を使って子どもたちに指導する。

オールあきる野
女子ソフトボールチーム



朝顔でいのちを学ぶ

志半ばに、若くして亡くなった先生の机にあった「朝顔」の種を、先生に代って生徒たちが栽培し、命の尊さを考える。

秋多中学校



中学生神輿で郷土愛を学ぶ

ルールを守り、自覚と責任を持って行われる阿伎留神社祭礼の中学生の神輿は祭りの花形。

五日市中学校

12月の第一土曜日を「あきる野市教育の日」に制定

11月1日開催の教育委員会において、市民の教育への関心と理解を深め、次代のあきる野を担う子どもたちの教育に関する取組を市民全体で推進し、本市の教育の充実と発展を図るために、12月の第1土曜日をあきる野市教育の日に決めました。

教育フォーラム

12月4日 午後1時～3時45分
命を大切にし、一人ひとりが輝いて生きていこう！

会場

秋川
キララ
ホール

中学生の主張大会

12月5日 午後1時～5時

“今”を生きる私たちの思い、夢、心の叫びを聞いて！

家庭は教育の原点です

家庭、学校、地域社会、みんなで子どものことを考えていこう

子どもは、様々な体験をとおりて生活の知恵を学びとり、社会人として成長していく上で必要な、物の見方や考え方、行動の仕方等を身につけていきます。かつてそれは、地域や自然との触れ合いの中で学ぶことが多くありました。しかし今、子ども

たちを取り巻く状況を見ると、物が豊かにあふれている一方で、ますます生活実感が乏しいものになっていきます。子どもの体験が不足し、人間関係が希薄になったことによって、社会性や規範意識、耐性が低くなったと言われています。言葉づかいが乱暴であったり、自分の落ち着かない気持ちを物や人にあたったりするなど、子どもたちの暴力傾向が強くなってきていることが指摘されています。周りの人への心づかいができないなど、自己中心的な行動もよく話題となります。

本市においても、学校における「いじめ」は減少傾向にありますが、不登校や校内での暴力等は増えている傾向があり、友達とうまくかわれない子どもの状況が多く見受けられます。学校では、道徳の時間などをおして、命の大切さや思いやりの心の尊さについて、子どもたちが実感できるような教育を進めています。

しかし、生活体験の不足や人

間関係の希薄さなどについては家庭や学校、地域社会が丸となって補っていかねばならない重要な問題です。わたしたち大人には、子どもたちが健やかに成長できる環境をつくる役割と責任があります。

家庭は教育の原点です！

教育委員会では、昨年度から、「思いやりのある子どもを育てる」ために、「大人が変われば、子どもが変わる！できることから実践しよう」を市民のみなさんに呼びかけてきました。特に教育の原点である家庭の役割を見直し、子どもの心のより所としての家庭のあり方について一緒に考えてきました。

その一環として、広報「あきる野」に家庭へのメッセージを8回にわたって連載しました。その内容を、この教育広報「一房のぶどう」でも再度取り上げ、みなさんとともに紙面をとおしての意見交流をしながら「子どもの心の居場所」としての家庭の役割を確かめていきたいと思っています。

第1回目のテーマは「子どもとの信頼関係を築こう」です。親として、教師として、また、地域のおじさんおばさんとしてなど、様々な立場から「子どもとの信頼関係」についての「意見やご感想をお寄せください」。

子どもとの信頼関係を築こう

「もつ、しらない」
「あなたなんか、きらいよ」

もし、このような突き放すような言い方を親にされたら、子どもの心はどうなるでしょう。

親は、その場の感情で発しただけかもしれませんが、子どもは見捨てられるかもしれないと不安になります。「パパみたいになっちゃだめよ」「ママはだらしがないね」

子どもの前で、親が互いをけなすと、やはり子どもは心配したり、悲しくなったりします。親の仲がよくないことや、認め合っていないことなどを、子どもは敏感に感じ取ります。

では、子どもの信頼を獲得するためには、親は、どのようなかわり方をすればよいのでしょうか。

・子どもに会えなくてもメモを残すなど気持ちを伝える工夫をしましょう。
・「あなたがとても大事なのよ」という気持ちで、1日1回は抱きしめてあげましょう。肩をたたき合うなど、いろいろなスキンシップもいいですね。

・「うちのパパは、日本一」
・「うちのママは、日本一」
と、互いを認め合う姿は、子どもに安心と信頼を与えます。
・「大変だね。一緒にやろう」というような助け合いの様子を見ると子どもは安心します。知らず知らずのうちに親は子どものお手本になっています。

また、子どもにとっての良い環境づくりのために、次のようなことはしないように気を付けましょう。

- ・大声で怒鳴りあう
- ・他人の悪口を言う
- ・乱暴に子どもを揺さぶる
- ・「早く、早く」と、いつもせかす

子どもは、家庭に心の居場所を求めています。「家に帰ると落ち着く。家族と話していると楽しい」と思えるような家庭づくりをしましょう。できるだけ子どもが心地よいと感じられる環境で育て、子どもが「周囲は、安心して頼れる人で満ちている」という信頼感をもてるようにしてあげることが大切です。

子どもは、安心と信頼に支えられれば、勇気をもって飛び立つことができます。

意見・問い合わせ 指導室
558-8859へ



毎月第2日曜日は「家庭の日」です

あきる野市では明るい家庭づくりの一環として、平成16年度も9月に「親子観劇会」を、10月に「幼児と小中学生の絵画・作文コンクール」を行いました。今回は絵画・作文の応募作品の

中から、絵画の最優秀作品2点と作文低学年の部の最優秀作品1点を掲載しましたので、ご家庭での話題にしてください。(作文高学年の部の最優秀作品は次号に掲載します。)

コンクール最優秀作品(作文 低学年)

「じてんしゃのれんしゅう」

小宮小学校1年 木住野 凱太

ぼくは、おとうさんとじてんしゃのれんしゅうをしました。いえのまえのみちで、よるやりました。どうしてよるになつてしまったかという、おとうさんのおしごとがいそがしいからです。でも、やくそくをしていたのでそのひは、がんばつてはやくかえつてきてくれました。ほじょのタイヤをとってはじめてのちようせんです。おとうさんが、

「まえをみてこげ。」
「いきました。またすこしのれしました。とちゅうでおかあさんとおとうとがみにきました。おとうさんしてくれたので、もつとがんばりました。あめがふつてきました。おとうさんが、
「もう、やめるか。」
「いったけど、もうすこしでそれそうなのでつづけました。なんかいいもつたりきたりしていたら、のれるようになりしました。いっぱいころんでいたかったけどがんばつてよかったです。おふるにはいつたらおとうさんがたくさんほめてくれました。とてもうれしかったです。おとうさんありがと。」

第9回「家庭の日」推進事業 入賞者一覧

絵画 幼児の部

最優秀賞	たかつばき ちかこ 高橋 知佳子	4才	「かぞくでおかいもの」 よつぎ第一保育園
優秀賞	おおしろ あみ 大城 愛未	3才	「かわでたくさんおよいだよ」 秋川幼稚園
優秀賞	よしだ あきひろ 吉田 章宏	5才	「かぞくでうみにいったよ」 よつぎ第一保育園
優秀賞	あさかわ りむし 浅川 李 夢詩香	6才	「かぞくでサイクリングしたよ」 よつぎ第一保育園

佳作：谷口希美 田辺莉沙 田嶋もも 岡部詩織 平井峻登
吉田風音 関口千里香 其原あや

作文 低学年の部

最優秀賞	きしの がい 木住野 凱太	1年	「じてんしゃのれんしゅう」 小宮小学校
優秀賞	たけうち りさ 竹内 理紗	1年	「でん車のたび」 南秋留小学校
優秀賞	いちかわ しゅう 市川 翔	3年	「ぼくとおばあちゃんのおつかい」 増戸小学校
優秀賞	こまつ かな 小松 奏	3年	「弟大すき」 西秋留小学校

佳作：三浦なつみ 加藤舞 坂本紗彩 高取弓理 中村円香
渡邊恵多 石塚麻友 寺本章太郎

作文 高学年の部

最優秀賞	たにやま ゆきこ 谷山 有起子	6年	「お母さんの誕生日」 屋城小学校
優秀賞	いちかわ まほ 市川 真帆	6年	「おばあちゃんとみんなで登った富士山」 増戸小学校
優秀賞	おかもと ともや 岡本 知也	6年	「僕の家は野球家族」 五日市小学校
優秀賞	のぞき みさと 野崎 美里	6年	「お祭り」 屋城小学校

佳作：渡邊祥多 鈴木李歩 佐藤真衣 西田亜由美 村田有咲
大場光洋 土師みつき 天野由理



「かぞくでおかいもの」

コンクール最優秀作品(絵画 幼児・中学生)
よつぎ第一保育園
4才 高橋 知佳子
秋多中学校
2年 富樫 愛美



絵画 中学生の部

最優秀賞	とがし あいみ 富樫 愛美	2年	秋多中学校
優秀賞	かかず ひろき 嘉数 拓希	1年	秋多中学校
優秀賞	たなか しょうたろう 田中 将太郎	2年	秋多中学校

佳作：岸野美奈 奥出藍 齋藤雅道 戸崎英優美